

令和6年度 大垣市文化事業団事業報告

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

大垣市文化事業団は、市の文化創造に寄与することをめざし、魅力ある事業の実施や適切な施設管理に努めている。

自主事業の舞台分野では、国内トップレベルのヴァイオリン奏者・諏訪内晶子と海外で実績のあるピアニストとのデュオ・リサイタル、心温まる日本の叙情歌をお届けする林部智史コンサート、落語家・春風亭昇太による独演会を開催した。また、音楽堂のピアノで演奏体験ができる事業を継続して行った。

美術分野では、一般公募による企画展として、全国各地の郷土玩具を展示した「郷土玩具大集合！展」を開催した。また、親子で参加できる美術ワークショップとして、廃材を切ったり貼ったりするコラージュ体験、スノードームづくり、朝顔の蔓をつかったリースづくり、の3事業を実施し、美術への関心の裾野が広がるよう努めた。

その他の分野では、小説家・中村航を審査委員長に招いた「水の都おおがき短編小説コンクール」を継続して実施した。

受託事業では、大垣音楽祭および大垣市芸術祭を継続開催し、広く市民文化発展の一翼を担った。また、「日本国際ポスター美術館」と連携し、ポスターに表現された物語をテーマとする「ポスター展2024」を開催した。

指定管理事業の舞台分野では、世界的なサクソ奏者である渡辺貞夫によるカルテットライブ、親子で楽しめる音楽事業として人気ユーチューバー・ハラミちゃんによるファミリーコンサート、岐阜県出身のピアニスト・上原彩子によるクリスマスコンサート「くるみ割り人形」を開催した。また、名古屋の劇団うりんこによる親子参加型の演劇舞台「ナゾトキシアター」を上演した。その他、ピアノパフォーマー・ウーノによる0歳児から入場できる音楽会とピアノの仕組みについて学べるピアノ解体ワークショップを実施した。

美術分野では、ふれて遊べるデジタルアートの企画展「こどものゆめミュージアム」を夏季に、情報科学芸術大学院大学〔IAMAS〕と連携したメディアアートの企画展「うごキズム」を秋季に、源氏物語をテーマとし、大垣市出身の洋画家・桑原隆一の作品を交えて紹介する「大垣市コレクション展」を冬季に開催した。

科学分野では、コスモドームなど施設を効果的に活用し、有識者を招いた市民科学講座を全3回開催した。また、市民天体教室、おもしろ科学教室、市内企業と連携した科学大好きセミナーを継続開催し、子どもたちが科学の世界を体験的に学べる機会を提供した。また、アートギャラリー前のパブリックスペースで化石の発掘体験ができるコーナーを夏休みに設けたり、サイエンスイラストレーター・ずかんくんの絵画で水のパビリオンやコスモドーム入り口前の壁面を飾るなど、来館者の満足度向上を目指した運営を行った。

その他の分野では、フリージャーナリスト池上彰による文化講演会を開催した。また、賑わいと憩いの場を創出することを目的に、スイトピアテラスを全3回継続して実施した。

施設管理面では、学習館南棟の外壁工事やトイレの洋式化工事など年間を通して大規模な工事が行われた。そのため、利用者への周知や安全確保に留意し、適切な施設管理に努めた。また、災害発生時への備えとして、震度5強以上の地震を想定した初動のためのアクションカードや、多人数が一カ所に集まるホールでの現地誘導マニュアルの整備を行った。

施設利用面では、夏休み期間中、学習館2階に学習コーナーを設置したほか、文化会館ロビーを工事による閉鎖期間を除き、年間を通して子ども達の自習や市民の語らい場として開放し、施設活用を促進した。また、10月には駐車場の運用が前納から後納となったことを受け、利用者への周知を徹底し、円滑な施設運営に尽力した。

令和6年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業実施状況一覧

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業					
公益目的事業	自主事業	創造都市	舞台	① 諏訪内晶子&オライオン・ヴォイス デュオ・リサイタル	
				② はやしべさとし 三十歳の旅立ち～叙情歌を道づれに～ 大垣編	
				③ 春風亭昇太 独演会	
				④ ホール応援プロジェクト(採択なし)	
		美術	⑤ ギャラリー応援プロジェクト「郷土玩具大集合!展」		
			⑥ 美術WS「スノードームを作ろう」		
		文芸	⑦ 水の都おおがき短編小説コンクール		
		社会包摂	舞台	① スタインウェイ&ベーゼンドルファー演奏体験	
			美術	② SDGs・美術WS「コラージュを楽しもう!」	
	③ SDGs・美術WS「明後日朝顔の蔓でリースを作ろう!/明後日朝顔の種を描こう!」				
	受託事業	創造都市	舞台	① 2024大垣音楽祭	
			美術	① ポスター展2024 ～それぞれの物語～	
		社会包摂	芸術祭	② 大垣市芸術祭(美術展、文芸祭ほか6事業)	
	指定管理事業	創造都市	舞台	① 池上彰 講演会「ニュースから世界を読む」	
				② 渡辺貞夫カルテットライブ	
				③ ハラミちゃんファミリーコンサート2024 ～お子様ランチいただきます!～	
				④ 上原彩子が奏でる《くるみ割り人形》	
			その他	⑤ スイトピアテラス	
			美術	⑥ 大垣市コレクション展「源氏物語にみる いとしきものたち」	
			科学	⑦ 市民科学講座(全3回)	
				⑧ 市民天体教室(夜:全12回)(昼:全66回)	
				⑨ おもしろ科学教室(全12回)	
				⑩ 水のパビリオン活性化事業	
⑪ コスモドームギャラリー・こどもサイエンスプラザ常設展					
⑫ 科学大好きセミナー(全8回)					
⑬ わくわく科学体験事業					
社会包摂		舞台	① ウーノのピアノ音楽会		
			② ピアノ解体ワークショップ&調律体験		
			③ ナゾトキシアター「名探偵!山田コタロウ 怪盗ハウレン草との闘い編」		
		美術	④ 夏休み企画展「こどものゆめミュージアム」		
			⑤ スイトピア×イアマス連携展示「うごキズム」		
			学習館科学施設運営事業		① こどもサイエンスプラザの運営事業
		② コスモドームの運営事業			
		③ 水のパビリオン運営事業			
公益目的事業の貸館事業					
収益目的事業		(収1) 公益目的事業以外の貸館事業			
	(収2) 専用駐車場の管理運営事業				
	(他1) スイトピア友の会事業				

令和6年度 公益財団法人大垣市文化事業団 事業別実施報告書

<公益目的事業>

(公1) 地域文化芸術の振興、市民の生涯学習の推進を行う事業

1. 自主事業

1-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	諏訪内晶子&オライオン・ワイス デュオ・リサイタル ◇令和6年9月7日(土) ◇文化ホール ◇入場者数 362人	トップレベルのクラシック音楽を提供するリサイタルを開催。 チャイコフスキー国際コンクール優勝の経歴を持つヴァイオリニスト諏訪内晶子と、アメリカ出身のピアニスト、オライオン・ワイスの共演により、ブラームスのヴァイオリンソナタ全曲を演奏した。
	はやしべさとし 三十歳の旅立ち ～叙情歌を道づれに～ 大垣編 ◇令和7年3月20日(木・祝) ◇文化ホール ◇入場者数 556人	昭和初期から伝わる童謡や、未来に残していきたい歌謡曲を歌い継ぎ、令和に生まれた新しいオリジナル曲を100年先にも届けることをテーマに開催した。 また、全国ツアーの「大垣編」として実施し、「お唄書き」の表紙には林部智史による大垣城のイラストが描かれ、MCでは大垣の銘菓や名所を紹介した。
	春風亭昇太 独演会 ◇令和6年8月24日(土) ◇文化ホール ◇入場者数 574人	日本の伝統芸能に触れる機会を提供するため、大垣市民にも馴染みのある著名な落語家、春風亭昇太による独演会を上演した。
	ホール応援プロジェクト ◇令和6年5月2日(木)～6月3日(月)募集 ◇応募総数 4件	2件の採択予定に対し4件の応募があった。応募条件に当てはまらなかったり、集客が見込めないなどの理由で全件不採択となった。
美術事業	ギャラリー応援プロジェクト 「郷土玩具大集合!展」 ◇令和7年2月8日(土)～3月9日(日) ◇アートギャラリー ◇入場者数 2,361人	個人コレクションの展示企画を募集し、採択された郷土玩具に関する展覧会を開催した。全国各地から収集した500点以上の玩具や唄を地域別に展示し、懐かしさを感じられる見応えのある展覧会となった。初日開催の作品鑑賞会には、熱心に聞き入る姿が見られた。
	美術ワークショップ 「スノードームを作ろう」 ◇令和6年12月7日(土)・8日(日) ◇文化会館1階ロビー、水のパビリオン前 ◇参加者数 155人	上原彩子が奏でる《くるみ割り人形》の関連事業として、スノードームを作るワークショップを開催した。文化公園内のマツボックリなど、各日30個分の材料を準備し、コンサート参加者のほか、館内の親子連れで賑わった。
文芸事業	水の都おおがき短編小説コンクール ◇応募総数 72点 ①事前講座「中村航と大垣のまちを歩く」 ◇令和6年5月25日(日) ◇スイトピアセンター～大垣駅周辺 ◇参加者数 14人 ②表彰式 ◇令和7年2月23日(日) ◇会議室3 ◇参加者数 3人	水の都おおがきに関する短編小説を募集するコンクールを実施。事前講座として、審査員長・中村航による案内で、思い出の詰まったスポットや昭和レトロな建物など、スイトピアセンターから大垣駅周辺を巡った。 表彰式では入賞者を表彰し、審査員長と2名の審査員、入賞者3名による交流会を開催した。作品についての意見交換を行い、交流を深めていただける機会とした。

1-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	スタインウェイ&ベーゼンドルファー演奏体験 ◇令和6年7月15日（月・祝）、27日（土） ※台風のため8月31日（土）中止 ◇音楽堂 ◇入場者数 19組37人	ホールの空き日を活用し、音楽堂に常設のスタインウェイとベーゼンドルファーを50分間貸し切りで演奏体験をする事業を実施した。昨年より10分延長し料金も値上げしたが、61組の応募があり、抽選となった。
美術事業	SDGs・美術ワークショップ 「コラージュを楽しもう！」 ◇令和6年5月5日（日・祝） ◇創作実習室 ◇参加者数 14組29人	SDGsに取り組んでいる企業より提供のあった廃材を利用し、SDGsについて考え、美術の楽しみを体感し、身近に感じられるワークショップを実施した。絵本の原画などに用いられるコラージュの技法を使い、身近にある素材をやぶったり、切ったりして、貼り付けた共同制作と個別制作の作品を作った。 （作品展示：5月18日～6月9日、19日間3,240人）
	SDGs・美術ワークショップ ①「明後日朝顔の蔓でリースを作ろう！」 ◇令和6年10月13日（日） ◇参加者数 11組21人 ②「明後日朝顔の種を描こう！」 ◇令和6年12月8日（日） ◇参加者数 44人	SDGsの取り組みの一環として、スイトピアセンターの敷地内で育成した明後日朝顔を使用したワークショップを2回実施した。両ワークショップともに実際の植物に触れ、美術の楽しみを体感し、創造力を育成し、多様な考え方を学ぶ、SDGs事業となった。 大垣市文化事業団で参加した、清流の国ぎふSDGsフェスティバルの期間内に実施し、SDGsの取り組みとして、これまでの明後日朝顔の活動も紹介した。 （記録展示：11月27日～1月13日、37日間7,311人）
事業経費		11,942,269円
諸経費		4,432,266円（人件費）
総費用額		16,374,535円
事業収益額		7,903,500円
総収入額		7,937,392円（基本財産運用益・雑収益含）

2. 受託事業

2-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	2024大垣音楽祭 ◇令和6年4月7日(日)～5月26日(日) ◇スイトピアセンター 音楽堂・文化ホール ◇入場者数 3,748人	合唱や吹奏楽など地域で活躍する演奏家や音楽団体の演奏会を開催するとともに、プロとの共演などを通して、大垣市の音楽文化の振興を図る事業を実施。 市民団体による17公演および、プロと地元演奏家の共演するスプリングコンサート1公演の計18公演を開催した。 4月 7日(日) 大垣少年少女合唱団 4月13日(土) The ACT ピアノデュオ 4月14日(日) 大垣プラスカンパニー 4月14日(日) コール・ペアーレ 4月21日(日) 大垣市吹奏楽団 4月27日(土) Smile スマイル(出演2団体) 4月28日(日) コールONE 4月29日(月・祝) マリンバアンサンブル4hearts 5月 3日(金・祝) 音楽教室アマービレ 5月 4日(土・祝) 大垣グリークラブ 5月 5日(日・祝) 音楽の風によって(出演2団体) 5月 6日(月・休) シンガーズクラブ ミューズ 5月11日(土) いつも青春コンサート(出演3団体) 5月12日(日) 大垣ギターマンドリンクラブ 5月18日(土) 音楽を愛する仲間たち 5月19日(日) 20th記念スプリングコンサート コンチェルト・アリアへの誘い part II 5月25日(土) かすみの会 5月26日(日) コーラス「和み」
	2025大垣音楽祭 準備	令和7年度に開催する「2025大垣音楽祭」の準備

2-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事 業 内 容	
美術事業	日本国際ポスター美術館所蔵 ポスター展２０２４ ～それぞれの物語～ ◇令和６年４月２７日(土)～６月９日(日) ◇アートギャラリー ◇入場者数 ３,０３６人	日本国際ポスター美術館（大垣市）の協力を得て、所蔵品の中から「物語」をテーマに、１９人のデザイナーによる５５点の作品を紹介した。 特別収蔵ポスターのロートレック、ミュシャ、サビニャックといった海外の著名な作品や日本を代表するデザイナーである亀倉雄策、早川良雄、田中一光などの作品も展示。デザイナーが手がけた絵本や大垣市内にある喫茶店のマッチ箱など関連資料もあわせて紹介した。	
	大垣市芸術祭 ◇令和６年１０月１９日(土) ～１２月８日(日) ◇文化ホール、音楽堂、展示室 ◇入場者数 ２６,００８人 (美術展出品数 １１,１１６点) (文芸祭出品数 １,６５７点)	各種市民団体の成果発表の場として開催。洋楽、邦楽・邦舞、洋舞、拓本展、市民茶会の６つの市民団体事業と、市美術展と市文芸祭の２つの公募展を実施した。 第６９回洋楽 １１月２日(土)、３日(日) 第６８回邦楽・邦舞 １１月９日(土)、１０日(日) 第６９回洋舞 １１月１７日(日) 第３４回拓本展 １１月２日(土)、３日(日) 第５１回名石展 １１月２日(土)、３日(日) 第５４回市民茶会 １１月３日(日) 第７３回大垣市美術展 一般の部 １０月１９日(土)～２７日(日) 青年の部 １１月９日(土)～１７日(日) 幼少年の部 １１月２３日(土)～１２月１日(日) 第６３回大垣市文芸祭 １２月１日(日)～１２月８日(日)	
事業経費		１０,６７５,１６３円	
諸経費		１１,９６７,１２０円(人件費)	
総費用額		２２,６４２,２８３円	
総収入額		２２,６３５,９００円(雑収益を含む)	

3. 指定管理事業

3-1. 創造都市事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	池上彰講演会「ニュースから世界を読む」 ◇令和6年11月30日(土) ◇文化ホール ◇入場者数 571人	市民文化の向上を図るため、フリージャーナリスト・コメンテーター・キャスターとして幅広く活躍する池上彰による講演会を開催した。「ニュースから世界を読む」をテーマに、テレビや新聞で話題になっていることを市民が理解しやすい言葉で説明した。
	渡辺貞夫カルテットライブ ◇令和7年3月3日(月) ◇文化ホール ◇入場者数 563人	世界的ジャズサックス奏者、渡辺貞夫が率いるカルテットライブを開催。メンバーたちと息の合った、92歳とは思えない、はつらつとした演奏を披露した。
	ハラミちゃんファミリーコンサート2024 ～お子様ランチいただきます!～ ◇令和6年12月1日(日) ◇文化ホール ◇入場者数 561人	ファミリーが自由に楽しめるコンサートを実施し、童謡、アニメ主題歌、ディズニー音楽、最新ヒット曲など、60曲以上を届けた。 公演にはキッズダンサーや「おがっかい」も登場し、会場を盛り上げた。
	上原彩子が奏でる《くるみ割り人形》 ◇令和6年12月7日(土) ◇文化ホール ◇入場者数 285人	クリスマスの時期に合わせ、チャイコフスキーの名曲「くるみ割り人形」のファミリーコンサートを開催。ピアノとお話に加え、イラストを投影しながらのコンサートとした。舞台上にはくるみ割り人形、クリスマスツリーを設置し、華やかな雰囲気となった。
	スイトピアテラス ◇1回目 令和6年5月26日(日) 2回目 令和6年7月28日(日) 3回目 令和6年11月4日(月・休) ◇文化公園 ◇入場者数 3,900人	キッチンカーやマルシェを設置し、季節や事業に合わせたワークショップを幅広く実施した。科学施設やアートギャラリー、図書館と連携をとりながら、スイトピアセンター全体の活性化を計った。 主な内容は次のとおり。 1回目: ウーノによるトイピアノ演奏会と演奏体験 2回目: スイトピアの夏祭り、サマーナイトミュージアム 3回目: 文化ホール「OMOIYA RELAY」との連携企画
	大垣市コレクション展 「源氏物語にみる いとしきものたち」 ◇令和6年11月23日(土) ～令和7年1月13日(月・祝) ◇アートギャラリー ◇入場者数 2,443人	大垣市が所蔵する美術品のうち、「源氏物語」をテーマにした102点の作品を展示し、広く市民に紹介した。 大垣市出身の洋画家・桑原隆一によるシルクスクリーン作品『源氏物語千年紀想』全54帖とともに、物語に登場する季節や自然、動植物などが描かれた絵画や工芸を紹介。会期中には、桑原隆一を招き作品鑑賞会も行った。市内小学校にゆかりある作品等も紹介し、親子での来場や、長時間かけてじっくりと鑑賞する市内外からの源氏ファンの来場もあった。
科学事業	市民科学講座(全3回) ◇コスモドーム ◇入場者数 (412人) 銀河の季節～天の川から銀河の海へ～ ①令和6年5月19日(日) 星空鉄道東海道線 ②令和6年9月8日(日) ブラック星博士のお笑い天文学★大垣征服計画 ③令和7年1月26日(日)	プラネタリウムを有効活用し、宇宙科学を身近に楽しめる事業を開催した。 ①講師: 濱根寿彦(文化事業団宇宙科学専門員) しし座やおとめ座の銀河についての性質や宇宙との関係について解説した。 ②講師: 那須香大阪天文台天文台長(中島健次) 講師が電車の運転手に扮して、電車で宇宙を巡る講座。クイズや映像、効果音に工夫を凝らして解説をした。 ③講師: 明石市立天文科学館館長(井上毅、ブラック星博士) ダジャレ満載の天文クイズ、今夜の星空、太陽系の惑星について解説した。

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
科学事業	市民天体教室 (夜) 全12回実施 (昼) 全66回実施 ◇こどもサイエンスプラザ4階天体観測室 ◇参加者数 延2,136人 (夜) 延339人 (昼) 延1,797人	昼の天体観測では、天体望遠鏡で多くの方に黒点やプロミネンスを見ていただいた。家族全員で参加される方や、観測を楽しむお子さんの写真を撮られる保護者の方も多かった。 夜の市民天体教室では、どの月も応募開始から数日で完売し、予約段階で満席となった。月をまたいだリピーターも多く、老若男女を問わず多くの方に参加いただけた。
	おもしろ科学教室 ◇全12回(令和6年5月～12月) ◇こどもサイエンスプラザ2階工作室 ◇参加者数 延254人	科学的な原理について実験などを通して学び、科学教育増進の一環とした。毎回、モデル等を使って演示実験等を行ったり、製作物のしくみを分かりやすく解説したりすることで、参加者の意欲を高め、科学の見方・考え方の向上につなげた。 最近では、低学年の参加が多く、自ずと保護者同伴となり親子一体型の教室となりつつある。
	水のバビリオン活性化事業 ◇令和6年4月1日～令和7年3月31日 ◇水のバビリオン ◇入場者数 126,305人 「メダカのボトルアクアリウムをつくろう」 ◇令和6年8月4日(日) ◇参加者数 26人	単独水槽を新たに設置し、魚の種類を増やして水槽内を充実させた。さらに「サイエンスイラストレーター・ずかんくん」の協力により、水槽前で魚を観察する親子連れが多く見られた。 野鳥の会による展示では、夏休み期間中、カブトムシからタマムシまで幅広い種類の生体が並び、来館者から好評を博した。 ハリヨクイズの横のスペースに、サンメッセ(株)から提供を受けた廃材のロール紙を活用して、「ずかんくん」が描いた春夏秋冬の自然・星空と旬の魚を、解説付き大型イラストとして展示した。 夏休みには、「ずかんくん」を講師に迎え、「メダカのボトルアクアリウムをつくろう」のワークショップを開催した。
	コスモドームギャラリー こどもサイエンスプラザ常設展 ◇コスモドームホワイエ こどもサイエンスプラザ1階 ◇入場者数 コスモドームギャラリー 68,562人 サイエンスプラザ常設展 112,244人	コスモドームギャラリーは、主にコスモドーム上映や市民天体教室の開始前に観覧できる展示となっている。今年度は来館者参加型の展示を増設した。また、小さな子ども達も楽しむことができる絵本・工作コーナー、顔はめパネル等を設置した。 こどもサイエンスプラザは、SLマニアの方や列車好きの親子が写真を撮る姿がみられた。また、SL公開日には運転席に入って直接説明をうけることができた。

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
科学事業	科学大好きセミナー（全8回） ◇創作実習室 こどもサイエンスプラザ工作室 ◇参加者数 延301人 ①カブトムシ博士になろう ◇令和6年5月12日（日） ②日本のロケットの今～H2AからH3へ～ ◇令和6年6月15日（土） ③星のプロが教える夏の星座を探そう ◇令和6年7月20日（土） ④100円グッズでおもしろ実験 ◇令和6年7月24日（水） ⑤電子オルゴールを作ろう！ ◇令和6年7月31日（水） ⑥風力発電に挑戦。そして自動車レース ◇令和6年8月21日（水） ⑦犯人を捜せ！君も科学捜査員 ◇令和6年8月23日（金） ⑧イカのからだのヒミツを調べよう ◇令和6年10月20日（日）	市内企業の協力を得て、未来を担う子どもたちに多彩な学習体験の機会を提供した。 ①植倉造園による「カブトムシ博士になろう」を実施した。卵から幼虫、さなぎ、そして成虫へと成長するカブトムシについて学んだ。家庭で飼育できるよう、飼育カゴにカブトムシの棲み処を作った。 ②JAXA職員による講演。これまで主幹ロケットであったH2AからH3ロケットへの進化やその開発にかかわる苦労をプロジェクトの映像を交えて聞いた。親子で参加できるクイズを盛り込み、低学年でも楽しめた。 ③文化事業団宇宙科学専門員による「星のプロが教える夏の星座を探そう」を実施した。天の川や夏の大三角を中心に、特徴や見つけ方を学んだ。 ④株式会社セリアによる「100円グッズでおもしろ実験」を実施した。まっすぐに転がらないふしぎなアルミたまごと、坂を上っていくコマを自分の手で作り、実際に動かしながら秘密について学んだ。 ⑤株式会社村田製作所による「電子オルゴールを作ろう！」を実施した。様々な電子部品の特徴を知り、それらの部品をいくつか組み合わせで電子オルゴールを作り、エネルギーについて学んだ。 ⑥太平洋工業株式会社によるペットボトルを使った「風力発電」教室を開催した。自作のプロペラで発電した電気を蓄え、自動車レースを体験した。 ⑦イビデンエンジニアリング株式会社による「犯人を見つける」教室を開催した。宿題をするために開けたノートが汚れていたことから、その犯人捜しを化学反応やその結果の類推から行っていく科学捜査ミッションを体験した。 ⑧「ずかんくん」によるイカのからだを観察しながら、自分の手で解剖して調べた。最後は、取り出した墨袋の墨を使ってイラストを描いた。
	わくわく科学体験事業 ◇学習館ラウンジ ◇参加者数 延455人 ①化石発掘体験 ◇令和6年7月21日、28日、8月4日、8月11日、18日、25日（日） ②廃材を使った小物づくりWS ◇令和6年12月27日（金）	学校で学ぶ理科とは一味違った科学に親しみ、その面白さや不思議さを体験する事業を提供した。 ①化石を発掘する体験事業。水晶ジオード割・三葉虫ノジュール割を体験した。体験中に、化石の解説や質問コーナーを設け、子ども達が化石に興味関心を持つ場を提供した。 ②大垣商業高校の生徒による廃材（廃金提供）を使った小物づくりを実施した。生徒たちが来館者の子ども達を中心に丁寧に接しながら工作づくりを楽しんだ。

3-2. 社会包摂事業

事業名 ・ 開催期日 ・ 場所		事業内容
舞台事業	ウーノのピアノ音楽会 ◇令和6年5月26日(日) (2回) ◇スイトピアホール ◇参加者数 138人	子どもから大人まで、家族で楽しめるピアノ音楽会を開催。岐阜市出身のピアノパフォーマー「ウーノ」が、グランドピアノとトイピアノを演奏し、映像を使ったりシールを使った楽譜遊びも実施した。
	ピアノ解体ワークショップ&調律体験 ◇令和6年8月17日(土) (2回) ◇音楽堂、スイトピアホール ◇参加者数 22組50人	音楽堂のスタインウェイとベーゼンドルファーの紹介をしながら、ピアノの構造や歴史を学ぶワークショップを開催。グランドピアノを少しずつ分解しながら、部品の役割・音の出る仕組みなどを間近で感じることができた。調律体験では、実際にハンマーを使用し、音の変化を体感した。
	ナゾトキシアター 「名探偵! 山田コタロウ 怪盗ホウレン草との闘い編」 ◇令和6年8月3日(土) ◇音楽堂 ◇参加者数 97人	劇団うりんこによる体験型演劇を開催した。登場人物とともに舞台の裏まで探索し事件の解決を目指す中で、親子で相談したり伏線を回収する楽しさや、演劇の魅力を身近に感じる機会となった。
美術事業	夏休み企画展 「こどものゆめミュージアム」 ◇令和6年7月13日(土)～8月25日(日) ◇アートギャラリー ◇入場者数 5,074人	夏休みに、身体を使って遊べるデジタルアート作品の体験型展覧会を開催した。大人も子どもに戻って楽しみ、親子で挑戦する姿があちこちで見受けられた。初日とスイトピアテラス開催日は夜まで延長開館し、ナイトミュージアムを実施した。ぬり絵コーナーも好評で会場内を埋め尽くすほどの賑わいとなった。
	スイトピア×IAMAS連携展示 「うごキズム」 ◇令和6年9月28日(土) ～11月4日(月・休) ◇アートギャラリー ◇入場者数 3,546人	スイトピアセンターと情報科学芸術大学院大学[IAMAS]の連携事業を開催し、美術の新たな楽しみと科学の魅力を身近に感じてもらう機会を提供した。「うごき」をテーマに本展のために制作した新作の体験型の3作品を展示した。 地域の方だけでなく、県内外の美術・芸術関係者の来館が多数あり、子どもから大人まで幅広い世代の鑑賞があった。特に初日のアーティスト・トークは、大変好評であった。今までのIAMASとの連携の取組みも紹介も行った。
事業経費		29,534,024円(事業共通経費を含む)
諸経費		39,151,691円(人件費)
総費用額		68,685,715円
事業収益額		72,141,122円(雑収益、指定管理料を含む)
助成金・補助金・協賛金		0円
総収入額		72,141,122円

4. 学習館科学施設運営事業

事業名	事業内容
こどもサイエンスプラザの運営事業 ◇入館者数 112,244人	学習館科学施設3施設「こどもサイエンスプラザ」、「コスモドーム(プラネタリウム)」、「水のパビリオン」の管理運営事業。
コスモドームの運営事業 ◇入場者数 22,854人	
水のパビリオンの運営事業 ◇入場者数 126,305人	
総費用額	34,349,317円
総収入額	32,275,323円

5. 貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 4, 319回	文化会館・学習館の貸館事業。
陶芸窯利用認定講習会 ◇令和6年10月6日(日) ◇スイトピアセンター 学習室3-5、窯場 ◇参加者数 13人	利用者に陶芸窯の安全な取扱いを理解していただくための講習会を開催。 〈利用認定期間 3年〉
総費用額	249,315,096円
総収入額	271,313,807円

<収益事業等>

(収1) 公益目的事業以外の貸館事業

事業名	事業内容
公益目的事業以外の貸館事業 ◇利用回数 文化会館・学習館 229回	文化会館・学習館の貸館事業。
総費用額	8,147,779円
総収入額	13,764,517円

(収2) 専用駐車場の管理運営事業

事業名	事業内容
スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業 ◇駐車利用台数 164,636台	スイトピアセンター専用駐車場の管理運営事業。
総費用額	7,739,295円
総収入額	6,620,000円

(他1) スイトピア友の会事業

事業名	事業内容
スイトピア友の会事業 ◇会員数 一般会員(391人/431口) 法人会員(37社/39口)	情報誌「スイトピア・ドロップス」を年4回発行した。また会員登録・更新をWEBで完結できるようにするなど、時代に適したサービス内容へ更新した。チケットの先行予約・割引や、協力店での特典利用も継続して実施した。
総費用額	3,200,163円
受取入金	1,147,000円
総収入額	3,884,000円

事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。